

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 004	提案機関名 横浜市
要望問題名 資源活用のため再生リン肥料を使用した農産物の付加価値化の研究（消費者意識調査）	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 肥料価格の高騰が続く中、市では肥料の国産化・安定供給に貢献することを目的にリン回収施設を設置し、回収されたリンを含み製造された肥料は、化学合成肥料の使用量低減につながり、その利活用にあたってはJA等と連携して取り組む予定です。 しかし、再生リンを活用した肥料により生産された農産物が、消費者に資源循環のプラスイメージとして捉えられ、付加価値に結び付くかどうかは不明です。 そこで、肥料の利用促進に向けて、資源を有効活用して生産された農産物の消費者評価についての研究をお願いします。 ・再生リンを活用した肥料で生産された農産物に対する消費者の評価 ・付加価値化のための課題と課題に対する解決方法の提案 対象地域は、横浜市全域 JA 横浜野菜部のプロジェクトで、再生リンを活用した肥料でサツマイモ栽培に取り組むことになっています。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2(1)ウ 県産農産物の市場性評価と鮮度評価・保持技術の開発			
対応の内容等 令和6年度からJA横浜と連携し、生産環境部で汚泥由来肥料の施用効果の検討に取り組んでいます。施用効果が確認された後、当該肥料の利用が進むためには生産された農産物が消費者に受け入れられることが重要です。そこで、上記課題の中で、令和7年度から再生リンを活用した肥料で生産された農産物に対する消費者の評価について調査します。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			